

香教連速報 香川県知事

平成23年度 文教予算の増額に関する要望 教職員増員・給与減額措置解除・多忙化解消政策を提案

香教連は10月13日の人事委員会の「平成22年職員の給与に関する報告と勧告」をふまえ、10月21日、香川県知事浜田恵造氏に対し、「平成22年度文教予算の増額に関する要望」活動を行った。人事委員会からは、6年目を迎えた「財政再建施策による給与減額措置」が実施されていないものとしてのマイナス勧告であったことから、「給与減額措置」の早期解除を申し入れるとともに、新・公立義務教育諸学校教職員定数改善計画(案)の策定にかかる少人数指導教員の継続配置や、主幹教諭の多数配置、指導教諭設置、教職員の多忙感解消施策実施、文教予算の増額等を強く要望した。



【要望書を浜田知事に提出する森委員長】

香教連から森委員長と地下事務局長が出席した。冒頭、香教連からの要望書を手渡し、香教連の結成理念やその活動内容、会員数(組織率)等について説明した。その後、浜田知事より、香川の教育行政における指針と早急に取り組みなければならない重要課題についての考えをお聞きした。その後、要望書を元に森委員長が「学校現場で増加している暴力行為、いじめ不登校等の問題を解決するための教員増」や、昨年設置が見送られた「指導教諭の早期設置、主幹教諭の増員」を求めた。また、「給与減額措置継続中の給与減額改訂は、教職員の意欲減退を招く。人事委員会の勧告は給与減額措置解除が前提である。」と、給与減額措置の早急な解除を強く求めた。さらに、教職員の多忙感解消のための「事務処理時間の短縮に向けた簡便化や電子化」を提案した。

<主な要望内容>

【質の高い教育を確立するために、必要な文教予算を十分に確保すること】

1 教職員配置・増員に関すること

- (1) 新・公立義務教育諸学校教職員定数改善計画の早期実施を関係機関に働きかけること。その際に、既に配置されている少人数指導のための加配定数を学級定員の引下げに充てないよう、あわせて働きかけること。
- (2) 学校における組織運営、指導体制の円滑化を図るために、以下のことについて要望する。
 - ① 組織運営の円滑化のために、主幹教諭の多数配置と、それに伴う加配教員の適正配置を行うこと。
 - ② 学校における指導体制のさらなる充実のために、指導教諭の多数配置を行うとともに、指導教諭配置に伴う加配教員を県単独でも配置すること。
- (3) 新学習指導要領の完全実施に伴う授業時数増等に対応するため、十分な教員を配置すること。
- (4) 学校運営の充実を図るために、養護教諭、学校事務職員の複数配置を学校の実態や規模に応じて推進すること。
- (5) 特別支援教育支援員や生徒指導加配教員、「食に関する指導」充実のための学校栄養教諭等、学校の実態に応じた教員の加配を一層進めること。
- (6) 優秀な人材が香川県において勤務できるように、香川県公立学校教員採用選考試験の受験資格・選考方法等の改善を進めよう関係機関に働きかけること。

2 給与に関すること

- (1) 財政再建政策による給与減額措置を早期に解除すること。
- (2) 教育専門職にふさわしい給与水準を維持すること。

3 諸手当に関すること

- (1) 研修にかかる出張旅費を十分に確保し、教員の研修に支障がないよう関係機関に働きかけること。
- (2) 学校運営及び教育指導での成果を反映し、諸手当の増額を含む見直しを行うこと。

4 その他

- (1) 人材確保法の趣旨に基づき、優れた教職員を確保するために、教育専門職としてふさわしい給与・待遇に改善するよう、国に働きかけること。
- (2) 教育の機会均等と教育水準の維持向上のために、義務教育費国庫負担金を当面2分の1に戻し、さらに教材費・図書費を国庫負担金の中に組み入れ、地域間の格差が生じないように、国に働きかけること。
- (3) 耐震補強の必要な校舎等において早急に工事を行うよう、市町に働きかけること。さらに、必要に応じて支援措置を講じること。
- (4) 地球温暖化や夏季休業中における授業時数増加等を鑑み、各学校に冷房の設備を整えるよう市町に働きかけること。
- (5) 全国学力学習状況調査を希望受験した市町に於いて、採点等にかかる予算を十分に確保するよう働きかけること。さらに、必要に応じて支援措置を講じること。
- (6) 学校現場で働く教職員が、やり甲斐と充実感を持って勤務できるように、メンタルヘルス事業や多忙感解消のための事業に対する予算を充実させること。

浜田知事の本県学校教育に関するコメント(抜粋)

児童・生徒の学力の維持向上と、校内における暴力行為の増加を抑止することが現時点での大きな課題であると考え。そのためには家庭・地域・学校の連携を一層進めていく必要がある。地域が学校教育に対してどのような取り組みができるか、各方面に意見を聞きながら実施していきたい。

また、これらの問題を解決するには、教職員の業務を見直し、「子供に向かい合う時間」を取り戻すことが不可欠である。子供と関わる時間が増えることで、学力の維持向上はもとより、暴力行為の軽減にも影響する部分が大いである。新聞等でも報道されたが、教育委員会と警察関係が連携し、学校にスクールサポーターを配置することも考えている。しかしながら基本的には、地域と家庭学校の連携、先生方の業務の見直しを重点的に実施し、改善がみられるかどうかを試行錯誤しながら進めていく必要がある。

<香教連の見解>

【財政再建施策による給与減額措置の早期解除を】

- ・ 10月13日に出された人事委員会の「職員の給与に関する報告と勧告」の中でも、「早期に給与勧告制度に基づく本来の職員給与水準が確保されることを切に要望する」とコメントされている。給与減額措置が6年間も継続している現状は異常である。早急な給与減額措置解除と、再延長のないようにしていただきたい。

【主幹教諭の多数任用と指導教諭の設置を】

- ・ 学校現場で起こっている諸問題を解決するには、学級担任を持たずに動くことのできる先生の増員が不可欠である。主幹教諭の増員も不登校いじめの早期発見早期解決につながる。
- ・ 新規採用教員の増加は非常にありがたいことである。若年教員の増加に伴い、学校現場における若年指導の重要性が増してくる。指導教諭が若年研修を担当し、若年教員のスキルアップを校内で行うことにより、2極化している児童生徒の学力・学習意欲を向上させる手立てになる。

【学校業務の精選とあわせて、教師本来の仕事においても簡便化を】

- ・ 持ち込み行事や、イベント参加、作品募集等の精選、研究会の持ち方の検討、調査・報告書の簡便化等とあわせて、本来教員が行うべき事務仕事においても、時間短縮のための電子化やITCの有効活用等改善していく必要がある。

<浜田知事のコメント>

- ・ 報告書様式の簡素化、報告の簡便化に関しては具体的な提案をどんどんしてほしい。かみ合った話が進めば学校現場での無駄削減につながる。

教職員給与を含む文教予算の増額に向けて香教連は粘り強く要望を続けます！

今後の要望予定：11月2日(火)香川県議会議長要望 11月10日(水)香川県教委予算要望